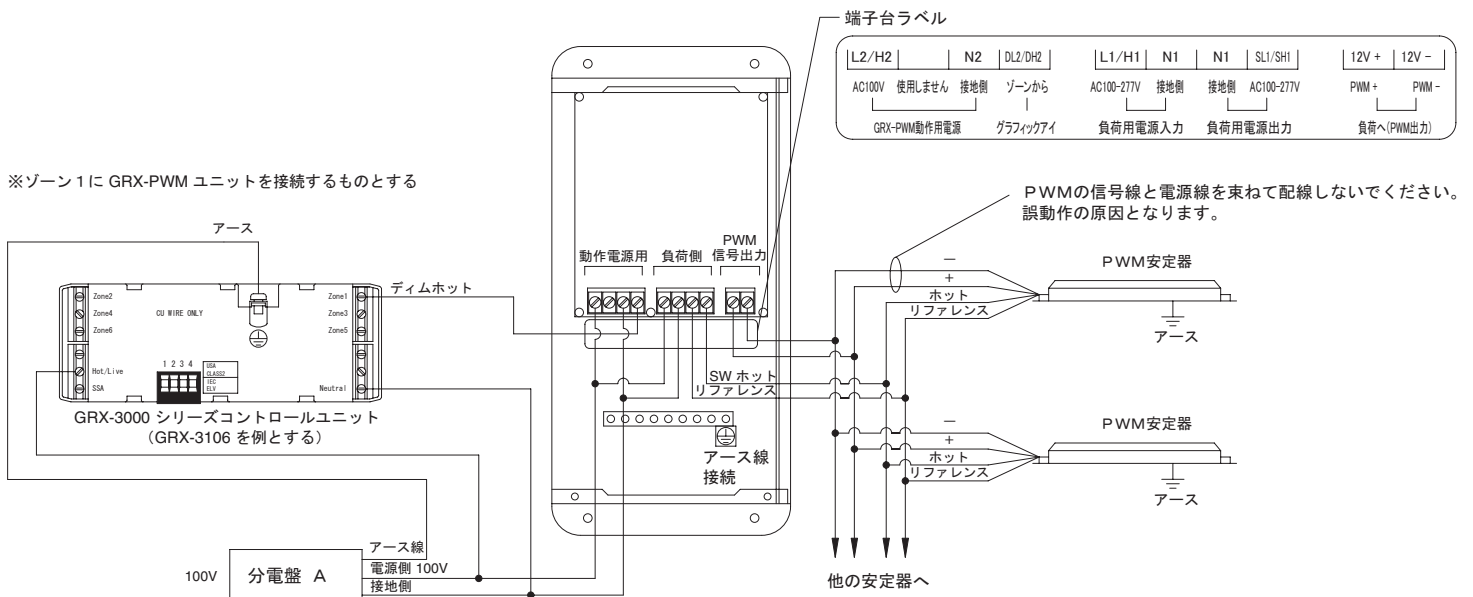


配線方法 (100 V 負荷)

配線上の注意

- (1) 配線を始める前に、すべてのブレーカーを切ってください。複数の分電盤から給電されている場合があります。
- (2) 安全のため、アース線は必ず接続してください。
- (3) 100 / 200 ~ 277 V 電源線を、GRX-PWM-JA ユニットの低電圧端子 (PWM 信号出力端子) に接続しないでください。
- (4) 端子台のビスは、しっかりと締めてください。
- (5) メガテストの際は、電圧 100 V にて関係回路すべての電源を OFF にして行ってください。
- (6) GRX-PWM-JA ユニットの本体動作電源は、AC 100 V をコントロール入力 / AC 100 V に接続してください。
- (7) ひとつのゾーンに複数の GRX-PWM-JA ユニット (最大 5 台まで) を接続する場合、GRX-PWM-JA ユニットの「ゾーンから」端子にて分岐し、次の GRX-PWM-JA ユニットへ延長してください。



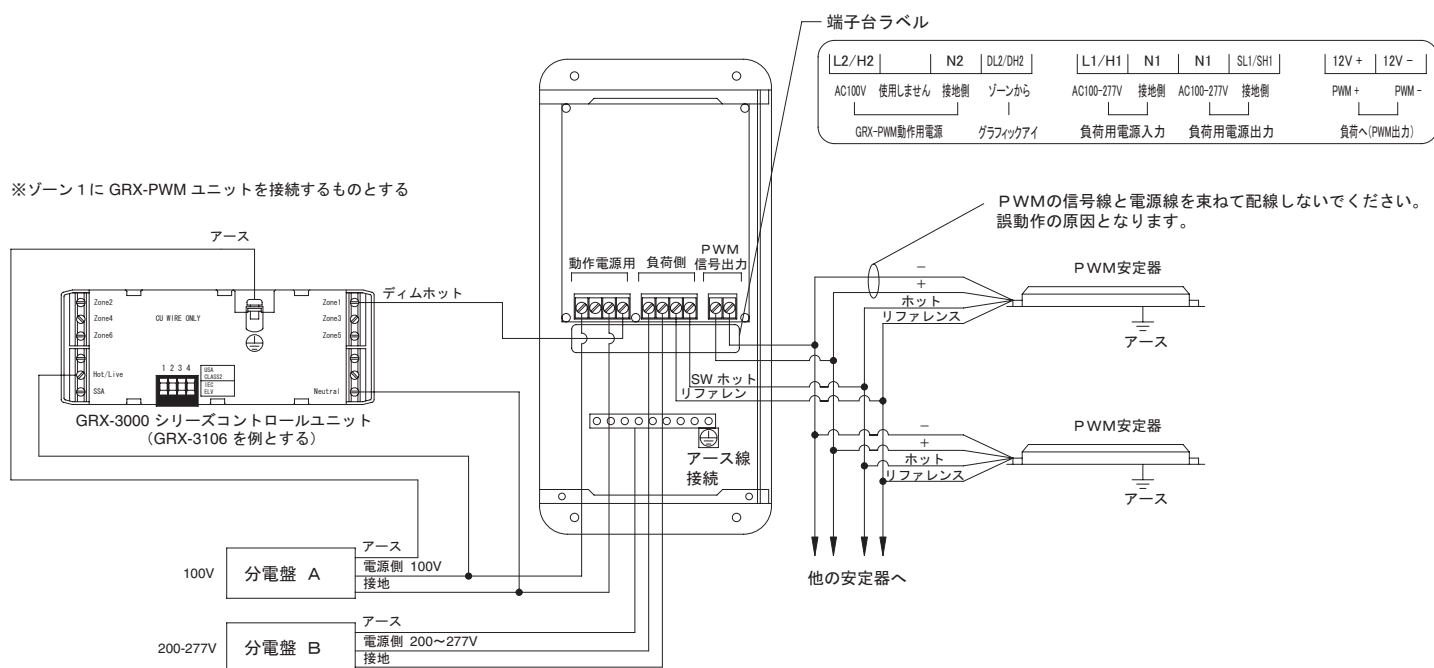
端子台ラベルの説明

- コントロール入力 (Control Inputs)
 - AC 100 V : GRX-PWM-JA ユニットの本体動作電源入力
 - 接地側 : GRX-PWM-JA ユニットの本体動作電源接地側
 - ゾーンから : GRAFIK Eye 3000 本体から照明ゾーン接続 (GRX-PWM-JA ユニットへの位相制御入力)
- 負荷電源 (Load Switched)
 - 入力
 - AC 100 ~ 277 V : 負荷用電源入力
 - 接地側 : 負荷用電源入力接地側
 - 出力
 - AC 100 ~ 277 V : 負荷への電源出力
 - 接地側 : 負荷からの電源接地側
- 12 V (PWM 信号出力)
 - + : PWM 制御信号 (+)
 - : PWM 制御信号 (-)

配線方法 (200 V ~ 277 V 負荷)

配線上の注意

- (1) 配線を始める前に、すべてのブレーカーを切ってください。複数の分電盤から給電されている場合があります。
- (2) 安全のため、アース線は必ず接続してください。
- (3) 100 / 200 ~ 277 V 電源線を、GRX-PWM-JA ユニットの低電圧端子 (PWM 信号出力端子) に接続しないでください。
- (4) 端子台のビスは、しっかりと締めてください。
- (5) メガテストの際は、電圧 100 V にて関係回路すべての電源を OFF にして行ってください。
- (6) GRX-PWM-JA ユニットの本体動作用電源は、AC 100 V をコントロール入力 / AC 100 V に接続してください。
- (7) ひとつのゾーンに複数の GRX-PWM-JA ユニット (最大 5 台まで) を接続する場合、GRX-PWM-JA ユニットの「ゾーンから」端子にて分岐し、次の GRX-PWM-JA ユニットへ延長してください。



端子台ラベルの説明

- コントロール入力 (Control Inputs)
 - AC 100 V : GRX-PWM-JA ユニットの本体動作用電源入力
 - 接地側 : GRX-PWM-JA ユニットの本体動作用電源接地側
 - ゾーンから : *GRAFIK Eye 3000* 本体から照明ゾーン接続 (GRX-PWM-JA ユニットへの位相制御入力)
- 負荷電源 (Load Switched)
 - 入力
 - AC 100 ~ 277 V : 負荷用電源入力
 - 接地側 : 負荷用電源入力接地側
 - 出力
 - AC 100 ~ 277 V : 負荷への電源出力
 - 接地側 : 負荷からの電源接地側
- 12 V (PWM 信号出力)
 - + : PWM 制御信号 (+)
 - : PWM 制御信号 (-)

動作確認

配線が完了したら、GRX-PWM-JA ユニットに電源を供給して、適切に動作するかチェックしてください。

- カバーを外すと、LED によりシステムの動作状態が目で見えてわかるようになります。
- 最初に電源が供給されると、起動モードを示す LED が 8 秒間点灯します。その後、LED は次のいずれかの方法でシステムの状態を示す点滅を開始します。

1. 標準的な動作

- LED が 1 秒に 2 回の割合で点滅している場合、*GRAFIK Eye 3000* コントロールユニットと GRX-PWM-JA ユニット間で適切な通信が行われていることを示します。



GRAFIK Eye 3000 コントロールユニットが**蛍光灯負荷タイプ**用に設定されていることを確認してください（『*GRAFIK Eye 3000* シリーズの取付説明書』を参照）。負荷タイプが正しく設定されていないと、適切な調光は行われません。

トラブルシューティング

症状	考えられる原因	解決方法
GRX-PWM-JA ユニットに接続された蛍光灯が調光しない	誤配線	LED が 1 秒に 2 回点滅していることを確認してください。1 秒に 2 回点滅していない場合、 <i>GRAFIK Eye 3000</i> コントロールユニットから GRX-PWM-JA ユニットへの配線をチェックしてください。
	電源がオフになっている	<i>GRAFIK Eye 3000</i> コントロールユニットがオンになっていることを確認してください。
	誤配線	PWM 信号の信号配線が正しいことをチェックしてください。
	コントロールの負荷設定が正しくない	<i>GRAFIK Eye 3000</i> コントロールユニットが、蛍光灯負荷タイプ用に設定されているか確認してください。
照明が点灯しない	誤配線	SH1 と N1 の配線が正しいことを確認してください。
	誤配線	DH2 に <i>GRAFIK Eye 3000</i> コントロールユニットから GRX-PWM-JA ユニットへ正しく配線されていることを確認してください。
照明が消灯しない	誤配線	DH2 に <i>GRAFIK Eye 3000</i> コントロールユニットから GRX-PWM-JA ユニットへ正しく配線されていることを確認してください。
LED が点灯しない	電源入力がない	電源が GRX-PWM-JA ユニットに供給されていることをチェックしてください。

限定保証

ルートロン アスカ株式会社は、その裁量により、ご購入より 1 年間を限度として、部品や製造上欠陥のあるユニットを修理または交換いたします。保証サービスの適用にあたっては、不具合のあるユニットをルートロン アスカ株式会社に返送していただく必要があります。

本保証は単一の明文規定とし、商品化の黙示保証及び日本の民法（瑕疵担保）のもとでの黙示保証の適用は購入から 1 年に限定されます。本保証には、取り付け、取り外し、再取り付け、及び誤用や乱用、不十分・不適切な修理に直接起因する損傷、あるいは配線ミス、取り付けミスに関係する費用は含まれません。本保証は、付随的、間接的に発生する損傷や特殊な損傷をカバーするものではありません。なお、ルートロン アスカ株式会社が、ユニットの製造、販売、取り付け、配送、使用に直接または間接的に起因する損傷に関して請け負う責任は、ユニット本体の販売価格を超えないものとします。

Lutron sunburst ロゴ、および GRAFIK Eye は登録商標です。

© 2005 Lutron Electronics Co., Inc.